卓 話 集

平成 20 年 1 月 30 日

担当:片桐 順一郎

『モロッコの旅』



『モロッコ王国』を簡単に紹介致します

地形は 北アフリカの北西端に位置し、ジブラルタル海峡でスペインと対し北部は地中海に面し西部は大西洋に面した海岸平野で国土の中央にアトラス山脈が走っています。

独立年 1956年(昭和31年3月2日)フランスより独立(フランスの植民地)

面 積 日本の1.2倍(西サハラを除く)

人 口 約3273万人(日本の四分の一)

首 都 ラバト 122万人

宗教 イスラム教 99%・キリスト教 1%

民 族 アラブ人65%・ベルベル人35%

距離 中部国際空港から19時間半ですがドバイまでが11時間ドバイから8時間30分(帰りは気流の関係で1時間早い)

航空機 エミレーツ航空(アラブ州邦共和国)

主 食 パン(フランスの植民地)

他の海外旅行との違い

- 1、中部国際空港内免税店では航空券で購入するアルコール類が一切出来ない。
- 2、ドバイ空港で滞在中のウイスキーを購入。
- 3、イスラム教はアルコール類は嗜まない。
- 4、滞在中 宿泊のホテルには冷蔵庫がない。(五つ星のホテル)

旅のコース

簡単に旅のシオリを申し上げますと、ほぼ日本と同じ面積を6日間かけて大型バスで『モロッコ』 すべての主な観光、(走行距離一日約300~400キロ)大概の海外旅行は同じホテルで二日 泊まっての観光ですが日暮にホテルに入り朝出発でかなりハードな旅でした。

1.カサプランカ観光(抜粋)

映画の舞台となった「カフェー」のビル(建替えられている)を四人の個人行動で探しあて、中に入ったが夕暮れからの開店で中は見ることが出来なかったが(再現カフェー)、驚いたことはアメルカで同じものを再現しての映画製作で本物の「バー」はハリウッドのスタジオで保存されているとのことである、

ハッサン2世のモスク(イスラム教の寺院)

世界一高い尖塔は200メートルあり中は2万人外は8万人収容の広場

モハメッド5世広場 が市民の憩いの広場

2. ラバト(モロッコ首都)観光

現国王モハメッド6世の王宮

フランスから独立させたモハメッド5世の霊廟が安置 見学

12世紀建設半ばで放棄されたミナレッドハッサンの塔は44メートル完成予定は88メートル 広場には360本の大理石の柱が立ち並び当時のモスクの跡が偲ばれる。

3. 古都 メネスク観光(世界遺産)

エル・マンスリー門外は三重の城壁で長さは25キロに及びイスラム教建築の傑作品 ムーレイ・イスマイルの廟がある。

4. フエズ 観光(25万人)

一千年以上に渡って発展を続け世界一の迷路と言われているメデイナ(旧市内)

狭い通路に両脇に店がびっしり、ひしめきあって生活している。

見事なモザイク装飾ノアッタリーン・メデルサ

皮なめし職人の業 見学

5.アトラス山脈ドライブ

モロッコのスイスといわれる景勝地オアシスの町エルフード

6.サハラ砂漠で日の出観賞

ホテル3:30出発四輪駆動車で横一列 走る事一時間半、ラクダに乗り換えてサバクをとぼと ぼと歩く事30分、見渡す限り水平線の小高い丘ではるか彼方から昇る太陽を拝む、帰りに常に テントで暮すベルベル族一家を訪問、飲物を頂きチップを忘れずに。

7. 化石工場 見学

20万年前この地方が突然噴き上げて海の生物が陸で化石となり想像を絶する。

8. トドラ渓谷散策

モロッコのグランドキャニオンの別名通り断崖絶壁 四方が高い絶壁が故に空の面積が小さく 見えて恐怖感に立たされる。

9. アイト・ペンハッドウ(世界遺産)

カスバ街道を通りカスバの中でも最も美しい要塞村を見学数組の家族が政府から補助を受けて生活している。

10.マラケッシュの街

世界最大といわれている市場 昔 罪人をみせしめに大衆を集めてその前で処刑され、今では多くの大道芸人達が広場で芸の披露で賑やか。

前国王が滞在したバヒア宮殿・泉の庭園・メナラ離宮見学

十数年前カルセール・マキが性手術をした町(日本では禁止であり世界的な名医がこの街をいた) 現在でも名医は亡くなっても、名が知れ渡り患者が多い。

11.フアンタジアショウー

19世紀頃の戦争の再現 人は100人ほどで白装束馬に跨り銃片手に空砲とはいえ迫力満点約一時間半のショウーである。